

情報Ⅰ「アルゴリズムとプログラミング」

自校開発 CBT による確認テストを実施しました



情報Ⅰの授業で、「アルゴリズムとプログラミング」の分野を対象とした CBT (Computer Based Testing) による確認テストを実施しました。

今回使用した CBT は、既製サービスではなく、本校教員が授業での活用を想定して独自に設計・構築したものです。生徒の学習状況や授業内容に合わせて問題構成や出題方法を調整できるなど、教育現場のニーズを自らの手でシステムとして形にした実践となっています。

生徒は一人一台端末を使い、用語や知識を確認する問題だけでなく、プログラムの処理結果や条件、アルゴリズムの流れを読み解く問題にも取り組みました。

受験後は、その場で総合得点や分野ごとの到達状況、学習アドバイスを確認できます。「できた・できなかった」で終わらず、次に何を学ぶかまでつなげられることが大きな特徴です。また、教員側でも提出状況や得点、学習状況を把握でき、次の授業や指導方法の改善に活用できます。

受験結果は校内サーバで管理し、利便性だけでなくデータ管理やセキュリティにも配慮しています。単に紙のテストをデジタル化するのではなく、

「学ぶ・確かめる・振り返る・次の学びへつなげる」

という学習の流れそのものをより効果的にすることを目指しています。

本校では今後も、DX ハイスクール事業を通して ICT や生成 AI などのデジタル技術を活用し、教員自身が教育活動に必要な仕組みを考え、つくり、生徒の学びを支える教育環境づくりを進めていきます。